

早稲田大学 スポーツ科学部 国語 講評

〔総合分析〕

出題形式	全問マーク式
試験時間	90分(現代文2問、古漢1問)
難易度	昨年より易化

〔大問別講評〕

(一) 評論文。「ウェブ社会における親密性」について。

出典：鈴木謙介『ウェブ社会のゆくえ』。

《本文字数：約 2900 字＝昨年より約 600 字減少。設問数：7＝昨年と同じ。》

小問	難易度	コメント
問一	やや易	【傍線部説明】直前2行の内容と「アイデンティティ」の語義から容易に判断できる。
問二	やや易	【傍線部説明】傍線部2を含む段落と次の段落の内容から容易に判断できる。
問三	標準	【傍線部説明】直後の一文で言い換えられている。ロは「変容」後の説明として不適切である。
問四	やや易	【空欄補充】直前の二つの段落内容を端的に言い換えたものを選択する。2段落前の最後の一文に同じ内容が書かれている。
問五	易	【空欄補充】直前の「感覚」と「考え」はどのような関係か。消去法でも容易だろう。
問六	やや易	【傍線部理解】直前の段落と傍線部4を含む段落に「変化」が説明されている。「黒歴史」をかつては自分の一部として認めていたが、現代ではなかったことにするという変化である。
問七	やや易	【傍線部説明】傍線部5は直前の一文の言い換えである。

(二) 評論文。「『正しい』という概念を分析する哲学」について。

出典：八木沢敬『「正しい」を分析する』。

《本文字数：約 3600 字＝昨年とほぼ同じ。設問数：8＝昨年と同じ。》

小問	難易度	コメント
問八	やや易	【理由説明】傍線部1を含む段落内容から判断できる。
問九	易	【漢字】i＝「顕微鏡」、ii＝「漠然」。いずれも基本である。
問十	標準	【空欄補充】cでロとハに絞り、bは直前の「事実合っている」「基準や規範にかなっている」と異なる内容を選ぶ。
問十一	標準	【理由説明】傍線部2の「～という主張の反例にはならない」から、その「主張」が正しいという説明を選ぶ。「まちがっている」という表現には否定辞が暗にふくまれている、ということである。
問十二	やや難	【傍線部説明】本文末尾の一文から判断する。ロがたいへん紛らわしいが、理屈の利点の「効果を」最大限に主張するという点が不適切である。
問十三	標準	【空欄補充】前後の「2」と「4」の間に論理的因果関係をもって入るものを選ぶ。
問十四	やや易	【文章整序】ニ→ロ→イ→ハの順序である。難しくないだろう。
問十五	やや易	【内容合致】ロは後半が明らかに誤っている。イは傍線部3を含む段落と次の段落内容に合致、ハは空欄b・cを含む段落内容に合致、ニは傍線部2の次の段落以降の内容に合致している。

(三) 古文。出典：『宇治拾遺物語』

《本文字数：約 1400 字＝昨年より約 300 字増加。設問数：6＝昨年より 1 問増加。》

小問	難易度	コメント
問十六	易	【単語区切り】「悪しかり/な/ん」になる。基本中の基本。
問十七	やや易	【空欄補充】A＝「よも…じ」で「まさか・よもや…まい」の意。B＝盗跖が孔子に「さっさと走り帰れ」と命令している場面。
問十八	やや易	【敬意の対象】2＝直前に「おほやけを」とあるので容易だろう。3＝孔子が盗跖に「あなたのことをお聞きすると…」と述べている。4＝孔子が盗跖に「私の申し上げたようにあなたはなさるべきだ」と述べている。
問十九	やや難	【傍線部理解】「針さすばかり」で「針をやっと刺せるほど狭いこと」の意。
問二十	標準	【傍線部理解】孔子が盗跖に言い負かされたという本文の主旨から、傍線は「孔子ほどの聖人君子でも失敗することもある」の意だと推測する。消去法も有効だろう。
問二十一	標準	【内容合致】ロは9～10行目に合致する。ハは前半と後半を因果関係で捉えている点が不適切。

(三) 漢文。出典：『莊子』雜篇「盗跖」

《本文字数：93 字＝昨年より 1 字増加。設問数：4＝昨年より 1 問増加。》

小問	難易度	コメント
問二十二・1	やや易	【訓読】前後とのつながりから、傍線の「若」を「もし」と読むと見抜く。仮定形。
問二十二・2	やや易	【傍線部理解】訓読が示されているので容易だろう。古文の内容もヒントになる。
問二十二・3	やや易	【指示語】柳下季が孔子に盗跖について説明しているセリフであることを意識する。
問二十二・4	標準	【空欄補充】「人を辱しむるに言を以て易し」。消去法が有効である。

〔総合コメント・今後の指針〕

昨年より易化した。高得点勝負になるだろう。

本学部は、11・12・15・16・17 年度をのぞくと、大問二でスポーツや身体に関わる評論文を出題していたが、今年も昨年と同様に出题されなかった。これで4年連続で出题されなかったことになる。

大問一は、「ウェブ社会における親密性」についての評論文。昨年より大きく易化した。基本レベルの設問がほとんどなので満点ちかくとりたいところだ。

大問二は、『正しい』という概念を分析する哲学』についての評論文。難易度は昨年並み。基本・標準レベルの設問はしっかり得点しておきたい。

大問三は、昨年よりやや易化した。古文は、『宇治拾遺物語』。本学部の古文は、例年それほど難しくはなく、今年も問十九以外は基本・標準レベルだった。漢文は、『莊子』。古文の内容をふまえれば難なく読めたはずだ。